

ラサルニ於テハ之亦山東条約ニ依リ律スヘキモノトシテ後日ノ問題ニ譲ラサルヘカラス然ルニ此際独り前記海底電線ノ問題ニ関シテノミ曩ニ日置前公使ヨリ稟申ニ係ルカ如キ「山東条約第一条ニ依リ律スヘキ云々」ノ公文ヲ交換スルニ於テハ海底電線問題以外ニハ山東通信業務ニ関シ山東条約ノ適用ヲ受クヘキモノ残存セストノ稟書ヲ為スカ如キ結果ヲ来タスノ虞アルヲ以テ此際ハ第五回會議ニ於テ我方委員ヨリ提出セル海底電線ニ関スル公文取極案ニ対シ支那側ヨリ「本件海底電線ノ繼承ハ他ノ諸問題ト為シ難シ」トノ意味合ノ文書ヲ徵スルコトトシ芝罘北京間直通通信ノ問題等ニ関シ交渉ノ余地ヲ存シ置クコトト致度ニ付此ノ趣旨ニ依リ解決方可然御配意アリタシ

(六) 林公使稟申ノ取極案ニ付テハ前ニ述ヘタル如ク第四条ノ「通常郵便物」ヲ「公衆郵便物」ニ改ムルコト並第六條ニ付テ芝罘ヲ除外スルコトニ決定セル場合ハ同條ニ相當修正ヲ加フル要アルノ外他ハ各條異存ナン但シ第七條ニ關聯シ開示セシムヘキ弁法ニ付「右弁法云々」ト記載シアリ右ハ勿論山東省全体ニ関スル弁法ノ意味ニシテ膠州灣租借地及山東鐵道沿線ノミニ関スルモノニ非サル義ト

支那電信局トヲ連結スヘキ必要ナル電線建設ニ着手スヘシ

第四条 芝罘太沽間ニ於ケル二條ノ支那海底線共ニ故障ナキトキハ芝罘及北京ニ於ケル独逸郵便局ハ善意ノ独逸官報送達ノ為毎日左記ノ時間中第三条ニ記載セル通信ヲ行フコトヲ得

午前九時三十分ヨリ十時ニ至ル、午后一時ヨリ一時三十分ニ至ル、同四時ヨリ四時三十分ニ至ル、同九時ヨリ九時三十分ニ至ル、
尚其他ノ時間ニ於テモ支那側ニ於テ使用ヲナサザル際ニハ独逸局ハ請求ニヨリ何時タリトモ通信ヲ行フコトヲ得

但シ前項ノ各場合ニ於テハ双方共好意ヲ以テ協議ヲ遂ケ互ニ出来得ル限り各自ノ通信事務ニ遲滞ヲ来サザラシムル様其最善ヲ尽スヘキモノトス

附 山東津浦兩鐵道連絡ニ関スル件

四一八 四月十八日 在中国日置公使ヨリ 石井外務大臣宛(電報)

一三 山東ニ於ケル通信業務ニ関スル交渉一件 附 四一八

思考スルモ第七條トノ關係上聊カ疑惑アルヲ以テ右為念申添ユ

最後ニ本月六日附政機密送第一〇二号ヲ以テ在支公使ヨリノ來翰ヲ添テ御申越ノ次第モ有之候処是迄段々ノ御配意ニ依リ彼我ノ主張モ漸次接近シ來リ今一息ニテ全部ノ解決ヲ見ムトスルニ方リ御來示ノ如キ行惱ヲ生シタルハ甚タ遺憾ニ堪エサル次第ニ有之候本件ニ付在支公使ノ講セラレタル措置ハ応急ノ措置トシテ至極適當ト存候モ若シ今後支那側ヨリ著シク從來ノ主張ト懸隔セル對案ヲ提出スルカ如キコトアリタル場合ハ飽迄國際ノ信義ニ訴ヘテ彼ノ反省ヲ促シ是迄支那側委員ノ約諾セルトコロハ斷シテ之ヲ變更セシメサル様可然御取計煩度右為念申進候

(參考)

北京芝罘間独逸官報送達ニ関スル利権

千九百七年五月三十一日独支電信協約

第三条 第四条ニ規定セル通信時間中上海青島芝罘間ノ独逸海底電線ト芝罘太沽北京間ノ支那線トノ間ニ獨立ノ通信ヲ開設スル為支那電政庁ハ本協約批准ノ後出来得ル限リ速ニ芝罘及北京ニ於ケル独逸郵便局ト右兩地ニ於ケル

山東津浦鐵道連絡ニ関シ山東鐵道北田營業部

長ヨリ申出ノ件

第三一八号

山東鐵道北田營業課長來京山東津浦兩鐵道聯絡ノ件ハ山東鐵道營業上必要トスル所ナルノミナラズ支那地方商人ニ於テモ之ヲ切望シ居ル關係上昨年來山東鐵道當局ヨリ津浦鐵道當局ニ向テ全然独治時代ノ例ニ從ヒ右聯絡開始方ヲ交渉セルニ津浦鐵道ニテハ交通部ノ命令ナキ限り相談ニ応シ難シトテ遂ニ要領ヲ得ザルニ付當館ヨリ支那政府筋ニ交渉アリタキ旨願出デタリ依テ北田ニ対シ右ハ尤ノ次第ト認メラルルニ付成否ハ予測シ兼ヌルモ支那側ニ交渉方十分尽力スヘキニ依リ順序トシテ一応其筋ヨリ外務省ニ照會スル様申聞ケ置キタリ

四一九 五月十六日 石井外務大臣ヨリ 在中国日置公使宛(電報)

山東津浦兩鐵道貨車聯絡運輸ノ復旧ニ関シ中

國側ト交渉方訓令ノ件

第一六〇号 貴電第三一八号ニ関シ

統治時代ニハ山東津浦兩鐵道貨車聯絡運輸実施セラレ居タルニ日独開戦ト共ニ中止セラレ兩鐵道ノ不便勦カラザルニ付大正二年七月十五日ヨリ実施セラレタル右兩鐵道貨車聯絡規定ニ依リ貨車聯絡運輸ノ復旧ヲ見ルニ至ル様交渉方陸軍省ヨリ依頼アリ且山東鐵道側ヨリノ打合ニ対シ津浦鐵道側ニ於テハ本件聯絡復旧ニ異存ナキモ交通部ノ指示ヲ要スル趣回答シタル由ニテ右ハ山東鐵道ヨリ已ニ貴官ニ報告シアル筈ナリ就テハ貴官ハ支那当局ニ対シ右津浦鐵道側ノ意嚮本件聯絡從來ノ成行竝右復旧ニヨリ双方共便益ヲ受クル次第ヲ説示セラレ支那当局ニ於テ速ニ本件聯絡復旧ニ同意シ必要ナル措置ヲ講スル様交渉ヲ遂ケラレシ右為参考濟南ニ郵報セラレタシ

四二〇 六月二日 在中國日置公使ヨリ 石井外務大臣宛(電報)

山東津浦兩鐵道聯絡ニ関スル中国側ノ意向ニ

付曹汝霖談話ノ件

第四九三号

貴電第一六〇号ニ関シ当時早速曹汝霖ニ申入レタルニ本件ハ中立問題及事業聯絡ノ両面ヨリ研究スヘキ複雑ナル問題ニ承知シ置キタシ

四二一 六月十五日 石井外務大臣ヨリ 在中國日置公使宛

山東津浦兩鐵道間貨車聯絡運輸ニ関シ陸軍側

ノ意向通報ノ件

公信政機密送第九七号

本件ニ関シ曹外交総長ト御会談ノ趣貴電第四九三号ヲ以テ御報告ノ次第閣悉右ハ陸軍省ヘモ及通報置候処今般同省ヨリ通信聯絡ニ関シテハ既ニ数回ノ交渉ヲ重ネ概ネ其帰着点ヲ発見セントスルノ時機ニ到達シ居ル折柄更ニ鐵道聯絡ヲ併セテ交渉スルハ却テ事ノ紛淆ヲ招ク次第ト被存候ニ付通信聯絡ニ付テハ從來ノ交渉ヲ継続シ鐵道聯絡ニ付テハ新ニ協商ヲ遂ケラレンコトヲ希望スル旨申越候御参考マテ此段通報申進候也

四二二 七月二十日 在中國小幡臨時代理公使ヨリ 石井外務大臣宛(電報)

一三 山東ニ於ケル通信業務ニ関スル交渉一件 附 四二二

ナルヲ以テ篤ト調査ノ上挨拶スヘシト答ヘ其儘ト相成居リタルニ付五月三十一日往訪ノ際督促シタル処曹ハ日本側申出ハ統治時代ノ例ニ依リ山東、津浦兩鐵道ノ聯絡ヲ計リタシトノ趣旨ナルモ独逸時代ニ於ケル聯絡ハ一ニ鐵道ノミニ限ラズ郵便電信等通信聯絡モ共ニ行ハレタルモノナレバ這回モ鐵道ノミヲ引離サス通信聯絡モ共ニ成立セシムル様シタシ兎ニ角山東鐵道ハ現ニ軍事占領ノ下ニアリテ客月二十日在東京代理公使ヲシテ統治時代ノ例ニ依リ山東鐵道ニテ支那軍隊ノ輸送許可方帝國政府ニ申入レシメタルニ軍事占領中ナル理由ノ下ニ拒絶セラレタル行懸リモアレハ到底独逸時代ト同一条件ノ下ニ聯絡スルコトハ不可能ニアラズヤト思料セラルルト同時ニ他面通信聯絡問題ニ関シテモ支那側ノ対案ニ対シ数月ニ亘リ何等回答セラレザル次第モアリ(本問題ニ就テハ既ニ彼我委員間ニ下協議ヲ開始シ近日中本會議ヲ開ク筈ナリ)支那側トシテハ日本側今回ノ交渉ニ応スルコト何分困難ナリト思考スルモ目下引続キ協議中ナルニ付追テ改メテ何分ノ義回答スヘシト云ヘリ依テ本使ヨリ鐵道通信聯絡ヲ必ズシモ同時ニ之ヲ行フノ必要ナキ事並ニ通信聯絡問題ノ交渉モ順次進捗シツアル事ヲ十分弁明

山東津浦兩鐵道連絡交渉抄ラザル旨報告並通 信連絡問題早急解決方ニ関シ意見上申ノ件

第六八〇号

山東津浦兩鐵道連絡ノ件ニ付テハ折角交渉ヲ重ネ居ルモ支那側ニテハ目下進行中ノ通信連絡問題解決後ニ譲リタシト主張シ容易ニ抄取ラズ此上トモ嚴談ヲ遂ゲベキモ一方通信連絡ノ件ハ大抵ノ所ニテ片附ケザレバ此先国会開会等ノ關係上如何ナル支障ヲ生ズルヤモ計リ難キニ付速ニ陸軍通信兩省ノ議ヲ纏メラレ何分ノ義御電訓ヲ請フ尚支那側ヨリ頻ニ回答ヲ迫リ居ルニ付貴電第二六四号ノ次第モ有之御電訓ノ日取折返シ御電報願ヒタシ

四二三 八月十日 在中國小幡臨時代理公使ヨリ 石井外務大臣宛(電報)

山東津浦兩鐵道連絡ニ関シ事實問題トシテ鐵道當局ヲシテ協議セシメタキ旨外交総長言明

ノ件

第七二二号

貴電第一六〇号山東津浦兩鐵道連絡問題ニ関シテハ過般來引続キ交渉中ナリシモ支那側ニテハ中立問題或ハ山鉄ノ軍

四二二 四二三

五四七

事の占領或ハ同鉄道ノ支那軍隊輸送拒絶等種々ナル口実ヲ
籍リ容易ニ応諾ノ模様ナカリシニ当方ヨリ極メテ執拗ナル
折衝ヲ重ネタル結果八月七日ノ会見ニ於テ陳總長ハ終ニ事
実問題トシテ兩鉄道貨車ノ相互ニ兩鉄道線内ニ出入連絡ス
ルコトハ異議ナキモ兩國政府代表者間ニ於テ公式ニ協議ス
ルトキハ中立問題ニ牽聯スル嫌アルヲ以テ連絡ニ関スル実
行方法ハ兩鉄道当局者ヲシテ協定セシメタシト言明スルニ
至レリ然ルニ交通部側ニテハ連絡実行ノ場合津浦鉄道ハ營
業上不利益ナル影響ヲ受クルヲ懸念セル為ニヤ共通「ブラ
ットフォーム」ノ方法ニテ連絡ヲ計リタシト申出デタルモ
外交總長カ既ニ承諾セラレタル以上断シテ之ヲ變更スルコ
ト能ハズト拒絶シ八月九日交通次長ヨリ外交總長言明ノ通
取計フヘキ旨通シ来レリ依テ詳細ナル実行方法ハ濟南ニ於
テ山東津浦兩鐵道代表者間ニ協議スル筈ナルヲ以テ北田ハ
明日当地出發青島ヘ帰任スヘシ濟南ヘ転電濟

四二四 九月二十日 在濟南林領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

山東津浦兩鐵道ノ貨車聯絡ニ関スル中国側ト
ノ交渉抄ラザル狀況報告ノ件

ル筈

四二五 十一月六日 在中国林公使ヨリ
寺内兼任外務大臣宛

山東津浦兩鐵道連絡ニ関スル會議開催日取中
国交通部ヨリ通知越ノ件

第九七〇号 (十一月七日接受)

本官宛在濟南領事宛十一月六日第一〇六号

十月二十七日附機密第二〇号往信ニ関シ十一月四日日本使交
通總長ニ面会ノ節會議開始方督促シタル処其ノ弁明ニ依レ
ハ會議開始ノ延引シタル事情大体過日王次長説明ノ通りニ
テ又協議ノ場所ニ付テハ最初濟南ニ於テ開会ノ積リナリシ
モ種々ノ都合上北京ト為シタキ所存ナリトノコトナリシガ
十一月六日交通部ヨリ愈々十一月十五日ヨリ會議開始スヘ
キ旨通知シ来リタルニ付至急右ノ次第山鉄当局ヘ転達方取
計ハレタシ

第二三三号

本官宛在支公使宛電報九月二十日附第二一一号

往電第二一〇号ニ関シ津浦鐵道副局長盛文頓昨日当地来着
二十日北田ト会見セルニ盛ハ兩鐵道ノ貨車聯絡ニ関シ自分
ハ交通部ヨリ何等ノ訓令ヲ受ケ居ラザルモ貨物ノ「ブラッ
トホーム」聯絡ニ付テハ商人ノ請願モアリ旁直チニ実行シ
タキ由ヲ述ヘタルニ依リ北田ハ之ヲ排斥シ且ツ王次長ヨリ
公使館ヘノ通知ニ依レハ貴下ハ北京ニ於テ交通部ヨリ貨車
聯絡協議開始ニ関シ訓令ヲ受ケタル筈ナリト反問セルニ盛
ハ自分ノ北京行ハ新任挨拶ノ為ニシテ決シテ聯絡ニ関シ訓
令ヲ受ケタルコトナシト断言シ更ニ不取敢貨物ノ「ブラッ
トホーム」聯絡ヲ実行シテハ如何トテ荐リニ之ヲ懲懲シタ
リト云フ蓋シ支那政府ハ前電ノ通り誠意ヲ以テ我要求タル
貨車聯絡ヲ開始セムトスル意思ナク既ニ北京ニ於テ排斥シ
去ラレタル貨物聯絡ヲ再ヒ当地ニ於テ提議シ時日ヲ遷延セ
シメムトスルモノト考ヘラル仍テ御手数ナガラ濟南ニ於テ
兩鐵道貨物聯絡協議ヲ開始スルコト及其委員任命ニ関シ交
通部ヲシテ更ニ明確ナル処置ヲ執ラシメラルル様御取計方
山鉄ノ依頼ニ依リ電稟ス尚ホ北田ハ明日一応青島ヘ帰任ス